

議会だより

題字は大神小6年 かわち 河内 たまき 珠希 さんです



No. 109
平成29年7月26日
発行 大分県日出町議会
電話 0977-73-3135



目次

願いがかないますように…七夕まつり(日出やまとこども園)

6月定例会

- 予算常任委員会 2
- 委員会報告 4
総務産業常任委員会・福祉文教常任委員会
- 10人が町政全般を質す 6
一般質問
- 町民の声 16



議員が編集した手づくり議会だよりです

議会などの審議の記録は町のホームページでもご覧いただけます。

平成29年

6月定例会

6月定例会は、6月2日から26日まで、25日間の会期で開催されました。町長から施政方針を含めた議案等に対する提案理由の説明が行われ、29年度一般会計補正予算をはじめとする予算関連議案や条例改正など議案5件、承認4件、同意8件が提案され、審査の結果、全会一致で可決しました。また、最終日に委員会から提案された、国に対して意見書を提出するための発意2件は、賛成多数での可決となりました。

全員協議会では、土地開発公社の28年度の事業報告と29年度の事業計画及び会計予算の報告を受け、「公社で町道高線線幅用地(日出堀区)を購入したが、その後、用地交渉も進まず、進捗していない。費用対効果を考え、事業を見直すべき」など多数の意見が出されました。今後、推移を注視していきます。

【予算委員会】

平成29年度一般会計補正予算は、既定の予算の総額に、歳入歳出それぞれ1233万円を追加し、補正後の総額は101億5815万円となります。

城下かかれい祭り

第32回城下かかれい祭りは、賞味会やステージイベントを刷新し、多くの来場者を迎えることができましたが、事業費の歳入として予定していた



大盛況だった第32回かかれい祭り

半島振興国庫補助金が不採択となったため、その額分を補正で計上します。

505万円

ALT委託事業

中学校のALT(外国語指導助手)の退職にともない、小学校同様に、学校向けALT配置を手掛ける事業者に委託するための不足分を計上するものです。

77万円

自主防災の資機材整備

コミュニティ助成(宝くじ)事業により、2地区の自主防災組織に資機材を整備します。法花寺地区が発電機、車椅子、チェーンソー、炊飯器など、北大神地区が備蓄倉庫、AED、簡易トイレ、トランシーバーなどを購入する予定です。

150万円

平原区公民館整備

コミュニティ助成事業により、平原地区公民館が太鼓2台と備品、エアコン2基など

を整備します。

240万円

自治公民館改修補助

藤原南部地区自治公民館の外壁塗装修理、西部地区自治公民館の外壁補修、瓦ふき替え、ホール天井の張り替えを補助します。

209万円

施設整備

保健福祉センター空調機器、給食センター厨房排気ダクトを修理します。

440万円



改修が予定されている西部地区自治公民館

国に対し、意見書を提出します

農業者戸別所得補償制度の復活を求める

大分県農民運動連合事務局長 三上秀則氏提出の「農業者戸別所得補償制度の復活を求める請願書」を賛成多数で採択し、意見書を提出します。

【意見書主旨】

平成25年度まで実施された、主要農産物を生産した農業者に対して生産費用と販売価格の差額を基本に交付する



稲作農家のために補償を

戸別所得補償制度は、多くの稲作農家の再生産や農村を支えてきました。しかし26年度から、交付金は経営所得安定策により引き下げられ、この制度も30年産米から廃止されようとしていることから、稲作農家の離農が加速し、地域がいつそつ疲弊しています。農業経営を下支えする政策を確立する観点から、生産費を補う農業者戸別補償制度を復活させ、国民の食糧と地域経済、環境と国土を守ることを求めます。

義務教育費国庫負担

2分の1へ復元

大分県教職員組合別府支部執行委員長 酒井純氏提出の「少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元及び制度の拡充を図るための、2018年度政府予算に係る意見書の採択に関する請願書」を賛成多数で採択し、意見書を提出します。

【意見書主旨】

学校現場における課題が複雑化・困難化するなかで、子ども豊かな学びを実現するために条件整備が不可欠です。そのため、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため30人以下学級を推進すること、教育の機会均等と水準の維持向上を図るため義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1へ復元・拡充すること、少人数学級を推進し複式学級を解消することを求めます。

監査委員の選任・農業委員の任命に同意



堀 寛爾 氏
(大神・中村)

監査委員 阿部 長夫氏の任期満了に伴い、後任者として堀 寛爾氏の選任に同意しました。また、農業委員の任期満了に伴い、新たに7名の任命に同意しました。

議会改革特別委員会

CTBによる

議会中継

開かれた議会を目指して検討を行っている議会中継の取り組みについて、CTBメディアからの概算見積（設備費用：約2680万円、年間利用料：264万8千円、年間保守料：47万円となる見込み）、工事期間（発注後4カ月）について全員協議会で検討を行った結果、住民の方々へ十分な説明ができるように早急に資料を準備し、再度、閉会中に全員協議会を開催し、検討することになりました。

議会のタブレット端末導入については、費用対効果（ペーパーレス等）の検証を行います。

その他、こども議会の開催については、過去の事例を参考に継続検討、議会図書館の充実についても引き続き検討していきます。

総務産業

議案等の審査結果

日出駅前月極駐車場

JR日出駅前駐車場（旧日出クリニック跡地）を「月極駐車場」として貸し出しします。利用を希望される方は、所定の申込書に必要事項を記載のうえ、土地開発事務局（財



利用開始となった「日出駅前月極駐車場」

政課管財係）まで提出をお願いします。申込書は財政課に備え付けのほか、町のホームページからダウンロードすることもできます。なお、料金は月額4千円です。

「生活協同組合コープ大分」と包括連携協定を締結

平成29年3月28日に「包括連携協定を締結しました。買い物弱者対策として、移動販売車の日出町内の乗り入れを実施します。また、地域の見守り、声かけ、子育て支援、災害時の物資供給支援等、地域住民の福祉の向上やくらしの安全・安心について連携していきます。

第32回城下かれい祭り

「第32回城下かれい祭り」が5月13日・14日、日出城址周辺と日出漁港をメイン会場として開催され、県内

外からの4万9千人の来場者で賑わいました。また、毎年行われる「城下かれい賞味会」では、町内6店舗で約900人のお客様に、本場の城下かれいの味を楽しんでいただきました。

大神漁港トイレ新設工事

大神漁港は、朝市の開催や観光漁業の取り組みにより、多くの人々が訪れていますが、現在、男女共用の小さなトイレしかないため、駐車場として使われている敷地の一部を活用して、公衆トイレを新設します。



大神漁港にトイレ新設予定

閉会中の審査

4月28日開催

危機管理室の設置

災害や防災関連業務の強化を図るため、今年度から室長を含め4名体制で危機管理室

消防団員

が設置されました。

7名の新規団員が入団し、7分団21部合計293名になりました。

合併浄化槽の補助金上乘せ

今年度から10万円の上乗せが決まり、5人槽で43万2千円、7人槽で51万4千円の補助となります。

福祉文教

議案等の審査結果

日出町国民健康保険税

国民健康保険税の算定基準改正に伴い条例を一部改正します。国民健康保険税の減額対象となる所得の判定基準額を改正するもので、5割軽減の対象となる世帯の軽減判定

所得の算定では、被保険者の数に乘すべき金額を現行の26万5千円から27万円に改正します。また、2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の算定では、被保険者数の数に乘すべき金額を現行の48万円から49万円に改正するものです。

幼稚園の認定業務を移管

幼稚園に係る、子どもの認定業務を教育総務課から子育て支援課に移管するため、条例を一部改正します。

外国語指導助手業務委託

日出町が直接雇用していた中学校の外国語指導助手が平成29年3月末で退職したため、専決予算で費目の組み換えを行い、5月から委託業務として実施しています。

ICT支援業務

ICT(情報通信技

術)を活用した授業を円滑に進めるため、6月から各小中学校で委託によるICT支援業務を行っています。

閉会中の審査

4月25日・28日開催

豊岡法華寺、帆足万里塾跡

経塚山の尾根沿い、標高380m、徒歩45分の位置にある帆足万里塾跡を現地視察しました。塾跡は現在、文化財に指定されていますが、今後、文化財指定を進めるのであれば、広

福祉避難所開設支援事業

町内15カ所ある福祉避難所に、防災備蓄品の購入経費を支援します。

節塩推進プロジェクト

昨年、大分県が実施した県民健康意識行動調査では、日出町は塩分摂取量が県下で最も多い摂取量でした。そのため、改善策として、1日の塩分摂取量3g減、節塩の取り組みを実施する人の割合を70%にするよう努力していきます。



中学校外国語授業



日出町文化財保護委員 松村氏(前列右から2人目)に案内されました。(法華寺・帆足万里塾跡)

一般質問

町政を問う



森 昭人 議員
(日出地区)

問

小学校に防犯カメラなどを設置すべきでは

答

先進事例を調査し、設置に向け検討します

問

特に日出小学校は、その特異な立地のため、侵入者に対して無防備です。防犯カメラや人感センサーを設置すべきと考えます。

教育総務課長

おおむね日出町のどの学校も、平日、外部の人が学校敷地内に入ることに厳格な管理ができてはいるわけではありません。どこまで防衛措置をとれば、児童の安全が確保されるか、判断が難しいところですが、今後、どのような対策を講じる必要があるか、先進事例の調査を行いたいと考えています。また、こういった防犯機具が有効であるかなど、県内の状況を調べ、設置に向けて、町長部局とも相談しながら検討します。

日出小学校敷地内への観光客の出入りを規制

問

日出城址周辺が整備され、観光客の増加に伴い、平日の授業中、観光客の学校敷地内への出入りが増えていきます。自由な観光客の出入りは、不審者との区別を困難にするため、明確なルールで規制すべきと考えます。

教育総務課長

天守閣跡や元禄の時鐘などの見学を許可することを前提とすれば、パンフレットなどを事前に配布し、校庭内の適正なルートを歩けるように誘導するなど、考えられます。今後、



小学校の安全確保を

どのような方法をとるのがよいのか、関係課と協議しながら検討します。

幼稚園と小学校を繋ぐホットラインの設置

問

日出幼稚園は、日出小学校から離れた場所にあるため、いざという時、不審者対応での小学校との連携に不安があります。小学校に非常事態を知らせる直通の非常ベルなどホットラインを設置すべきと考えますが。

教育総務課長

現状では、緊急時、園の電話または携帯電話で連絡を入れることになっていますが、即座に小学校や警察に連絡できる仕組みづくりも必要だと考えます。教育委員会としても同じ認識であり、機器の設置等、検討していきます。

緊急通報装置・防犯カメラの設置を検討

問

不審者対応として、各教室から職員室、職員室から警察、消防などへ直通の「緊急通報装置」の設置、また、通学路の要所に「防犯カメラ」の設置を検討しては。

教育総務課長

町全体の防犯体制の整備として、取り組むべき問題であり、様々な対策と複合させて取り組んでいく必要があると考えています。

質問を終えて

緊急時は、1分1秒でも早い迅速な対応が、被害の度合いを左右する



池田 淳子 議員
(藤原地区)

問 子育てアプリの導入を

答 先進地の情報収集に努めます

問 子育て支援には、国や県と連携したものが多くと思いますが、日出町独自で取り組んでいるものはどのようなものがありますか。

子育て支援課長 子ども医療費助成の拡充や交流ひろばHi-Caliの一時託児事業、また、子育てホットクーポンは4月より児童書籍の購入助成を追加しました。その他、任意予防接種費用助成や2歳児歯科検診、両親学級や5歳児こころと体の相談会があります。

子育て支援課長 予防接種のスケジュールや施設マップなど、どのような形で情報を発信していますか。予防接種のお知らせは、乳

問 子育てアプリの導入を

答 先進地の情報収集に努めます

幼児家庭全戸訪問時に渡して趣旨を説明しています。また、町内の予防接種実施医療機関の情報を載せているプリントも配布しています。スケジュールは、かかりつけ医から指導してもらい、個別に接種勧奨が必要な対象者に郵送で知らせています。子育ての情報は、ホームページのほかに母子手帳配布などにプリント配布し説明を行っています。

問 多くの方がスマートフォンで情報を取得しています。子育てアプリ導入の考えはありますか。

子育て支援課長 情報発信の方法のひとつとして考えており、利用者数や評価など、先進地の情報収集に努めていきます。

ヘルプマーク

問

以前質問した際に、「県が防災カードの普及に取り組んでいるので県と共に取り組んでいきたい」という答弁でしたが、その後どうなりましたか。

福祉対策課長

東京都が作成したヘルプマークが7月にもJISに加わる見通しで、県も、それを採用したヘルプカードを作成したいとしています。導入は早くても、7月以降との返答で、導入後は、町報やホームページでの周知を行い、希望する対象者への配布を行っています。

オリジナルの婚姻・出生届

問

「キティちゃん」の絵入り住民票の発行枚数は。

住民課長

発行開始後53枚です。



福岡県で広く利用されている「ヘルプカード(おもて)」

問 記念に残せるよう複写式にし、「キティちゃん」以外でも日出町オリジナルデザインの婚姻届、出生届を作成しては。

住民課長

現在のところ考えていません。

質問を終えて

先進地の後に続くばかりではなく、ときには日出町が先進地に



熊谷 健作 議員
(豊岡地区)

問 コミュニティバスの利用を無料に

答 不公平が生じないよう受益者負担の原則でいきます

いです。

問

補助金の額をコミュニティバスに上乘せし、増便する考えはありますか。その際、別府への乗り入れは可能ですか。

政策推進課長

JRや民間バスのある路線では極めて難しいと考えます。

自動ブレーキ搭載車の購入補助

問

高齢者の運転免許の自主返納制度に取り組む考えはありますか。

生活環境課長

先進自治体の実績を調べ研究していきます。

問

自動ブレーキ搭載車の購入時の補助金を県と連携して創設する努力をしませんか。

町長

県が取り組めば検討したいと思えます。急発進防止装置についても考えていきます。

障がい者雇用の推進

問

県は障がい者雇用率日本一を掲げています。役場職員の採用で障がい者枠を設ける考えはありますか。

町長

身障者・健常者の区別なく試験の成績で採用します。

Wi-Fiの有効利用

問

Wi-Fiは災害時の有効な通信手段として総務省が促進しています。町内で環境が整備されている場所と今後の予定は。

財政課長

二の丸館、交流ひろばHi-Cali、糸ヶ浜海浜公園です。国の制度を利用して整備を進めます。

●他に陽谷駅の事業検証についての質問がありました。

質問を終えて

高齢者に優しい交通行政を柔軟な発想で実行していただきたい

問

路線に利用者の声が反映されていますか。

政策推進課長

毎年アンケートをとり生活交通保持協議会に諮問しています。

問

陽谷駅の電車の発着に合せていますか。

政策推進課長

ほぼ30分以内で接続しています。

問

大分交通、国東観光バスの時刻表が変わりましたが、相談はありましたか。

政策推進課長

平日で45本から39本に減便されました。事前に通知がありました。



コミュニティバスの利用推進



阿部 真二 議員
(大神地区)

問 新たな観光開発計画はありますか

答 地域資源の発掘や基盤整備を行います

問 現在、町内にある観光資源・観光ルートはどれくらいありますか。また、新たな観光開発計画はありますか。

商工観光課長

観光資源は複数の定義があり、重複する資源もあるため、数字では表しづらいです。観光ルートは観光協会のホームページでお勧めしている8コースが代表的なものです。新たな観光開発は、町内にある地域資源の発掘と人材・組織育成、藤原地域などの観光地帯と連携しながら基盤整備を行い、研究を重ねていきます。

問

「ハローキティとくらすまち ひじ」のキャッチフレーズに見合った新規取り組みは、

商工観光課長 8月に日出町内の店舗を紹介するパンフレットを作成し、ハモニールランドで配付する取り組みを行います。

問 日出の幸ブランド化

問

日出の幸ブランド化推進事業の現在の取り組み内容と、今後の取り組みは。

農林水産課長

現在は、水産事業にとどまっており、平成29年度はカレイの長期育成事業、カキの振興補助事業を実施する予定です。今後の取り組みとしては、ハモ、カキ、ナマコなどの振興を図りながらブランド化に向けて取り組みます。また、農産物についても今年度、品種を選定しカボチャの試験

栽培の取り組みを開始したところで、

問

ハモ部会が解散したと聞きましたが、町としての今後の対応は。

農林水産課長

ハモ部会については、出荷量、販売価格も安定し、販路の拡大も認められることから発展的解散だと捉えています。今後については、関係機関と連携しながらさらなる推進を図っていきます。

問 町有財産の有効活用

問

川崎工業団地の利用状況はどれくらい進捗していますか。また、今後の見込みは。

商工観光課長

平成27年度、28年度にそれぞれ1社ずつ操業を開始しました。今年度は4月から1社、



観光協会ホームページ掲載のパンフレット

10月に1社の操業開始を予定しています。現在の利用率は26%で、今年度末まで50%を目標とし、製造業を中心に企業誘致を進めていきます。

質問を終えて

観光客が参加、体験し、また日出町に来たくなる観光開発を



佐藤 隆信 議員
(大神地区)

問 ミサイル落下時の訓練を町はしますか

答 安全な体制をとるよう町民に求めます

問

弾道ミサイル落下時の行動について内閣官房からどのような指導がありましたか。

総務課長

県が国の説明会を受け、各市町村に対して、弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動について、町民に周知するよう依頼がありました。

問

ミサイルが落下するという事態になれば戦争だと思うのですが、内閣官房からの指導内容で本当に助かると思っておりますか。

総務課長

内閣官房からの内容をそのまま町民の方へお知らせすることで、今後も対応したいと考えています。

問

今後、国から訓練の要請があったとき町民に実行しますか。

町長

ミサイルが日本に落下する危険、可能性がある場合、住民に周知して、安全な体制をとるように町民に求めます。

問

多面的機能支払制度は

事務手続きが大変なのでなかなかできない地区があるようですが行政が行うことはできませんか。

農林水産課長

書類作成は、あくまで事業主体の責任で作成をしております。作成の仕方は、町の担当でお手伝いさせていただきます。

農業公社設立を農協と共同で

問

遊休農地・空きハウスなどの有効利用、県内外の新規就農者の育成、リースハウス・6次産業化の支援、新規作物・ブランドなどの研究促進、消費者との交流販売拡充などを実現する組織、農業公社をつくり、第一次産業の育成強化をする考えはありませんか。

町長

5項目提案されていますが、農業公社のできる事業は、農地の売買、貸付、農作業の受託、農地の管理耕作、農産物の加工販売です。これらの中で、解決できる部分とできない部分もあるのではないかと考えています。農業公社設立は、慎重に検討する必要があります。

八代漁港の浚渫を

問

八代漁港の港の中は砂浜になり、台風がきたら海水が陸に上がります。これまで漁船が少ないということで掘れなかったのですが陸から重機で掘れませんか。

町長

土砂の堆積がかなり多いということですが陸からどのような形ができるか研究したいと思います。



浚渫が必要な八代漁港



衛藤 清隆 議員
(南端地区)

問 学校の方向性のあり方
検討委員会の設置は

答 第1回の検討委員会
を7月に開催します

問 南端小中学校が休校になつて1年以上経過しましたが、今後の方向性を考えるための検討委員会の構成員は。

教育総務課長

委員会のメンバーは保護者、同窓会、地域づくりの各代表者で6月中の構成を考えています。

問

環境的にも定期的な草刈りなどの管理が必要ではないでしょうか。

教育総務課長

予算の中で委託業務として実施します。

問

学校の休校による児童生徒の通学手段の現状を把握していますか。



休校となった南端小中学校の今後は…

また、保護者の負担軽減策としてスクールバスの運行をどのように考えますか。

教育総務課長

特定の地域だけのスクールバス運行は、町内のバランス

を考えたときに難しいところ
です。

問

町長は子育て支援に力を入れていますが、バス運行は負担軽減だけでなく子育て支援になるのでは。

町長

バスの運行が、子育て支援になると考えていません。通学方法で何ができるか検討していきます。

地域振興

問

南端地区町道の危険箇所の早期改修計画は。

都市建設課長

原則として用地交渉ができるところから改良をすすめることになりませんが、予算の都合上、年次計画のなかでの執行になると考えます。

問

空き家対策の状況は。

政策推進課長

空き家の有効利用で空き家バンク登録制度を実施しています。

問

空き家バンクに登録しない人が多い原因は。

政策推進課長

年に何回か帰った時の住居にしたいとの回答が多くありました。

消防団

問

消防団員の減少が続く中、機能別消防団の設置計画はありますか。

総務課長

他市町村を調査し、情報収集を行って検討します。

問

消防機庫の簡易トイレ設置、シャッターの塗り替え等の整備は。

総務課長

設置場所や、維持管理を考へ優先順位を決めて、環境改善に努めます。

質問を終えて

住民の声を反映させる町政を



岩尾 幸六 議員
(川崎地区)

問 日出町の塩分の摂取量は

答 す 13・4gで県下1位で

問

食塩の高摂取により、町では脳血管疾患患者や高血圧症患者が多いと紹介されていますが、何名の患者がいますか。

健康増進課長

脳血管疾患の方は257人、高血圧症の方は1655人となっています。

問

町で県民健康意識行動調査に参加した人数は。

健康増進課長

980人がこの調査に参加し、このうち、栄養摂取状況調査は、270人が対象となっています。約80項目にわたって塩分摂取量が調査され、分析の結果、13・4gの数値が算出されました。

問

塩分削減の目標値として、

1日3gの減塩目標を掲げていますが、この3gの根拠は何ですか。

健康増進課長

国が1日当たりの塩分摂取量を男性8g未満という目標数値を掲げています。これを受けて、県はマイナス3gの減塩目標を掲げており、町も同じ目標としました。

問

毎日の食事の塩分量確認には、測定器が有効と聞きましたが、何台の測定器を持っていますか。

健康増進課長

現在4台の測定器があり、この事業で更に10台の測定機購入を計画しています。また、食生活改善推進協議会や健康づくり推進協議会の協力により、節塩意識向上に取り組み、

みそ汁などの塩分を各家庭で測定できるよう測定器の貸出しも計画しています。

施設利用
リハビリのための

問

脳血管疾患や高血圧症の方、障がいを持たれている方が、リハビリのため、川崎体育館、福祉センターを利用していますが、人数を把握していますか。

福祉対策課長
生涯学習課長

現在のところ、両施設ともに、利用人数の把握は行っていません。

問

町内のトレーニング施設は、65歳以上の方が利用料無料ですが、65歳未満の障がい者やリハビリを必要とする方々も無料化にしては。

町長

トレーニング施設で、障がい者の方の利用者がどれくらいいるのか、まずは把握した



多くの器具がそろったトレーニング施設(川崎体育館)

うえで、利用料について検討する必要があると考えてみたいと思います。

質問を終えて

65歳未満の障がい者や有病者の施設利用料の無料化実現を



上野 満 議員
(大神地区)

問 認定こども園の防犯体制は

答 国の補助事業を活用し整備します

問

宇佐市の四日市こども園で、凶器を持った男が侵入し、児童を含む3人がけがをした事件は記憶に新しいと思います。不審者の襲撃に対する認可保育所、認定こども園の防犯体制はどのようになっていますか。

子育て支援課長

平成28年度は、国の補助事業を活用して3園が防犯カメラを設置しました。29年度は国の補助事業で、4園が防犯カメラ、2園が緊急通報装置、2園が防犯フェンスなどの外構の整備を計画しています。この事業は、国の採択を受けた段階で補正予算に計上する予定



園児と保護者が安心できるこども園に

です。また、今年4月に、大分県が県内の放課後児童クラブ支援員を対象に、不審者の侵入に対する考え方や必要な知識及び技能の修得に係る防犯研修を開催しています。

問 防犯器具は備えていますか。
子育て支援課長 詳細は調べていませんが1園は刺股(さすまた)を2本購入したと聞いています。

問

男性保育士がいると犯罪の抑止力にもなると思いますが、現状は。

子育て支援課長

園長以外の保育士で男性職員の配置については、1園で1名となっています。

小学校の運動会の日程

問

運動会が、少年野球の全国大会の県大会予選と重なり、出場選手は運動会に参加できなかったようです。運動会日程の調整はできませんか。

学校教育課長

平成24年度から、運動会を春に開催していますが、平成26年10月に実施した保護者アンケートでは、開催希望日は春が78・4%、秋が21・6%という結果でした。これを受けて、小学校運動会開催時期

検討会を開いて協議し、現在も春開催を継続しています。開催の期日は、城下かれい祭り、中学校の体育大会、6月の天候等を考慮し、前年度中に学校長が決定します。このような状況のなかで全ての団体の行事を避けることは困難であると考えています。

問

保護者アンケートの調査結果は、地区による偏りがあったのでは。

学校教育課長

若干の偏りはありますが、春開催の割合が少ない地区でも、70%以上は春開催に賛成しています。

その他、中学校の寄付金、JRの始発・終電についての質問がありました。

質問を終えて

保護者アンケートは今後も続けてください



工藤 健次 議員
(大神地区)

問 地域振興の基本的な考えは

答 人口の維持増加、地域経済力の向上です

問 地域振興の基本的な考えは。

町長 人口の維持・増加、地域経済力の向上に取り組むことです。農林水産業の活性化や若者が残り、伝統文化が継承できる地域にしていく必要があります。

問 職員の地域との連携構築は。

政策推進課長 自治体の主体性のもとで町民の方と共に考え、決定し、行動していく形の行政運営が求められています。地域振興の再生実現に向けて住民の方と行政を担う職員との連携を深めていきます。

問 ふれあいセンター活用の方策は。

問 地域振興の基本的な考えは

答 人口の維持増加、地域経済力の向上です

総務課長

地域振興の中心的な役割を十分に担うことができている。今後は、行政と公民館の組織の縦割りにとらわれず、町民に分かりやすく利用しやすい施設となるための検討を早急に進めます。

問 ため池の実態

ため池の現状と災害事故防止策は。

農林水産課長

町内には、ため池が55カ所あり、廃池予定が2カ所あります。管理は、土地改良区や水利組合等の地元が行っており、異常があれば、管理者から連絡をいた



オープン間近のパークゴルフ場

問 パークゴルフ場

今年度4月から管理委託していますが、芝の管理が行き届いていません。現状の管理

問

今年度4月から管理委託していますが、芝の管理が行き届いていません。現状の管理

と運営状況は。

都市建設課長

5月末までは芝の養生期間として管理をし、6月から業者が作業に入る予定です。今後もパークゴルフ協会の皆様と連携し、アドバイスを受けながら適切な管理を行います。

問 教職員の勤務実態

勤務実態、長時間勤務の改善への取り組みは。

教育総務課長

小学校は事務処理、中学校は部活動等が特に多い結果になっています。

教育長

就任して真っ先に行ったことが働き方改革です。学校ごとに組織されている学校安全衛生委員会を取り組みを行っています。

質問を終えて

各課や団体、町民との連携の構築が急務であると強く感じました



金元 正生 議員
(日出地区)

問 民生・児童委員の環境整備の進捗状況は

答 改善の方向で進めています

しております。

問 予期せぬ事件が発生した場合、町のメンタルケアに対しての準備状況は。

学校教育課長

対象規模により、対応が異なりますが、学校に配置されたスクールカウンセラー等に対応したり、トラウマを負う可能性がある際には、大分県こころの緊急支援活動チームに派遣を要請し、対応いたします。

問 昨今の子どもをターゲットにした事件の犯人の多くは、長期孤立時期があった事が実態ですが、ひきこもりの支援についての町の取り組みは。

福祉対策課長

情報収集に苦慮している状況で、各種団体と連携を取りながら、当事者の状況に応じた対応しているところです。大分ひきこもり地域支援セン



活動の拠点ができました

問

福祉文教常任委員会から町長に要望書を提出したなかで、優先順位が高い民生・児童委員の活動拠点確保の進捗は。

福祉対策課長

今年度から、福祉センター内に事務スペースをつくり、利用しやすく改善しました。

問

専任の事務局長の配置は。

福祉対策課長

現在、社会福祉協議会と協議を進めているところです。

子どもを取り巻く諸問題

問

今年3月に、宇佐市の認定こども園が運営する放課後児童クラブ襲撃事件が起きました。防犯体制は、教育現場で

問

今後の対策としては、やはりハード面の整備が早急な検討課題と考えています。

教育総務課長

各学校が定める危機管理マニュアルに沿っての連絡体制を確立しており、不審者侵入対策、防犯関連の訓練を行う際には、警察官に指導をいただいております。

町長

杵築日出警察署長と、月1回は情報交換を行うよう予定

ターなどの関係機関と連携しながら、一層の支援に取り組んでいきたいと考えています。また社会福祉協議会では月1回程度、ひきこもり親の会を開催しています。

・その他、不登校と北朝鮮のミサイルへの対処についての質問がありました。

町民の声

『子どもの外遊び』

近年、子どもの体力低下が問題になっていきます。そのため、「学校の登下校は出来るだけ送迎をせず、歩いて登校をさせてください」と学校からの手紙が毎年あります。また最近では、室内ゲームやインターネットの普及により、外で遊ぶ子どもは、少なくなっています。学校も遅くまであるため、子ども達が友達と一緒に自由に遊ぶ時間自体が少なく、体力低下もやむをえない状況になってきているように思えます。

日出町の様々な公園内の遊具が新しくなったことをご存じでしょうか？小学生を対象とした選択式のアンケートの結果、遊具が決定したということです。遊具が新設された公園で活発に遊ぶ子ども達が増え微笑ましいことだと、私は思っています。

我が家には幼児、小学生、中学生の元気な男の子がいます。最近子ども達から、公園で走り回って遊んでいると、「危ないから走らないでー」「ボールはぶつかると危ないからしないでー」や「危ないから木登りはやめなさい」と注意されたという話をよく聞きます。遊びが限定された公園（野球のみやサッカーのみ）や、公園での禁止事項も多く、子ども達が自由に遊べる場所が少ないように感じます。

幼児を連れてくる保護者の方々は、成長した子ども達の遊びのスピードに恐怖を感じることもあると思います。しかし、幼児も小学生、中学生、高校生へと成長していきます。子どもが成長した時に、外で自由に遊べない世の中になつては、子ども達が可哀そうではないでしょうか？

子ども達の遊びが多少危険なことになったり汚れたり、と、ヒヤヒヤすることもありますが、もしもありません。そこで、「危ないからやめなさい！」「禁止するのではなく、「気を付けて遊びなさい」と声をかけて見守ってほしいのです。（例：柿の木は折れやすいから気を付けなさい等）

今日の子どもの多くは、遊ぶ時間が少ないため遊び方を知りません。わが子には、「人に迷惑が掛からないように遊ばなさい。特に小さい子ども



日出団地
古賀 由紀 さん

がいるときには気を配って遊ばなさい」と言っています。親の目の届かない所では限度を超えた遊びをしているかもしれせん。危険すぎることや目に余る行動があれば、直接叱ってください。自分の子どもや孫だけでなく、地域の子どもの温かい目で見守っていただけたらと思っています。

確かに、中学生が走り回っていると感じるかもしれませんが、居場所がありません。勉強と部活だけでは、息が詰まる子どももいます。外で体を動かすことで、ストレスを発散させてあげてください。また、小さい子どもの遊具だけではなく、バスケットボールやスケートボード、自転車等で大人でも遊べる場所があれば、子どもの体力向上や健全な成長に繋がり、魅力のある町づくりの一助になると思います。

- 9月
- 25日 議会運営委員会
 - 31日 本会議(初日)
 - 4日 本会議 議案質疑・一般質問
 - 5日 本会議(一般質問)
 - 6日・7日 常任委員会(予算)
 - 8日 特別委員会(決算)
 - 12日・14日 特別委員会(決算)
 - 15日・19日 常任委員会(所管)
 - 20日 常任委員会(予算)
 - 21日 全員協議会
 - 22日 議会報編集特別委員会
 - 26日 本会議(最終日)

9月定例議会の予定

お 詫 び

前回 108 号の議会日より「町民の声」で安倍博三さんの名前に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

編集後記

太平洋戦争から今年で72年、「悲惨な戦争を繰り返さない」という不戦の誓いはどうなるのか、先行きが不透明になっていきます。

北朝鮮は、今年になって11発の弾道ミサイルを発射し、今年中には大陸間弾道ミサイルの発射実験を行うのではないかと報道もありました。

今回の町議会、県議会でも、同様に北朝鮮のミサイル問題についての一般質問があり、万一の有事に備える対策の必要性を感じました。

政府では、Jアラートによる緊急情報の発信や避難方法に関する広報活動に力を入れています。いざ有事の際、時間的な猶予、避難対策の効果はどうかなどの心配もたくさんあります。

只々、「万が一」が起きないことを祈るのみです。

- (土田 亮治)
- 編集委員長 森 昭人
 - 副委員長 土田 亮治
 - 委員 池田 淳子
 - 委員 上野 満
 - 委員 阿部 真二
 - 委員 岡山 栄蔵